

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス にいる		令和7年 3月 19日			
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	日によって人手が足りないと感じる 人材の確保
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	障害物をなるべく減らしていると思う その時の状況みて、テーブルや物の移動をすることで危険リスクを回避できるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃、消毒、環境整備に努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	苦手なお子さまがいる場合や体調不良、イライラが強くでている場合には別室を用意し様子を見ています。 引き続き、状況に合わせた個別対応が出来るようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	月1回の職員会議において現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。 PDCAサイクルについての理解ができるよう研修などに取り入れていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		引き続き、検討、業務改善に繋げていきます。 ホームページで評価、公表を行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議で意見交換を行い、検討、改善に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	外部からの評価を真摯に受け止め早急に改善するよう努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	月1回、研修をしています。 今後、外部研修や専門の外部講師を招くなど積極的に努めていきます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		保護者の皆様に周知できるよう努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		引き続き、包括的な支援と具体的な支援計画の作成に努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	支援会議やその日の職員間での情報共有、支援に関わる職員全員が共通理解した支援計画を作成をしています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	職員間で情報共有を徹底し共通理解をしたうえで統一された支援ができているかを確認し合いながら努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	フォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを活用し適応行動の状況を確認していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定しています。 お子さまの特性や発達状況を踏まえ5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日々の流れを汲みながら複数の職員がプログラムの立案に参加し、全体で把握と修正をしながら行っていきます。 プログラムの目的やこどもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるように努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	発達や特性に合わせて内容を変更し、変化をさせながら取り組んでいます。 引き続き、お子さま一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの立案に努めます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		個々の発達に応じた課題と集団適応、社会性の課題を支援計画に入れと逸した支援をに努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・イベントなど大きな行事の際には、必ず行っているが日常からは出来ていない時もある ・朝のミーティングで打ち合わせを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・出来ない時もあるが、極力している ・情報共有アプリを活用している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に一回以上の見直しをしている	保護者様やご本人の意向や必要性を確認しながら都度、見直しに努めています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6	1	自己選択ができるよう、ボードや○×カード、写真などを使用して自己決定ができる支援をしています。	さらに、レポートを増やし選択範囲が広がるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		併設事業所のレクリエーションに参加	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		可能な範囲で共有し、保護者様を通じて対応をしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・利用者様の障がい特性によって難しいが出来る機会があればよい ・交流はないと思う ・町内会の宴祭りに参加している	今後、積極的に取り入れていきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	まだ未参加ではあるが、今後は参加して行きたい	開催時期などこまめにチェックし開催時期などを調べます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		要望があれば取り組んでいきたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	保護者様やきょうだい同士が交流する機会を設ける事ができなかったが、今後は交流も合わせてイベントを企画する事ができればよい交流はない	多数の要望があれば実施したいと思います。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6	1		通信以外にも、管理者からのお便りを定期的に発信はしているが、内容を充実させ頻度を増やしていきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	3	障がい特性が個々で違う為招待する企画は出来ていないが、今後企画をしていくのも良い	地域のとの関りを深めるため、今後検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6	1	・禁食対応をしている ・保護者に聞き取りをし、対応をしている	定期的な面談の際に、確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		7		同一敷地内の事業所全体で共有を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		6	1	身体拘束委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。	事業所内で定期的に委員会を設置し参加、情報周知し共有を図っています。	